

脩身論

後篇

T1A1

22

(W49)

脩身論後編卷二

阿部泰藏 譯

第七章

親ノ職務及其權ヲ論ス

親ノ子ニ對シテノ間ハ何ノ為メニ設ケタルモ
ノナクヤ多クノ議論ヲ待タスニテ容易ニ之ヲ
知ルヘシ

子ノ始メテ生ル、ヤ成長レテ後行フハキ職務
ヲ預メ知ルモユアラヌ數年ノ後自ラ一身ヲ

養ハナルヘカラス故ニ身軀ノ強壯ヲ要ス然レ
氏軟弱ニシテ人ノ扶助ヲ仰カサルヲ得ス其四
面ニ幸福ノ充滿スル有ルモ之ヲ享クルニハ知
識ヲカルヘカラス然レ氏無知矇昧ナリ種々ノ
惡事ニ誘惑セラルヘシ之ヲ拒クノ方ハ唯道ノ
修ムルニアリ然レ氏修身ノ道未タ立ス試
一事ヲ舉テ之ヲ云ハシ茲ニ某ノ技藝若クハ職
業アリ氏生レテ一日或ハ一歳ノ稼兎何ヲ以
テ力之ヲ行フ一身ヲ養ヒ餓死ヲ免ルヲ得
ヤ

之ニ由ラ考フニハ小兒幼少ノ間ノ養育ト成長
ノ後行フヘキ職務ノ教育トヲ要スルヲ明カナ
リ人皆此養育ト教育トヲ受ケレ者ニシテ若シ
之ヲ受ケサレハ今日生存スル者ナカルヘシ故
ニ已ヨリ後ニ生ル者ニ之ヲ授クルヲ以テ其
職務トス

扱親子ノ情狀ハ恰モ此景況ニ適當セルモノニ
シテ親ハ力アリ智アリ經驗アリテ之ヲ用テ其
子ノ安全ヲ謀リ殊ニ之ヲ其子ノ教育ニ用ヒシ
ト欲スルノ天性ヲ備ヘ子ハ軟弱無智ニシテ事

ヲ經驗セシメテ自然ニ父ノ指揮ニ依賴信任
スルノ天性アリ

是ヲ以テ親ノ職務ハ大抵教ノ一字ニ過キスレ
テ此職務ヲ行フニ必要ナル事ハ隨意ニ之ヲ行
フノ權アリ

親ノ職務ヲ區分スレハ即チ左ノ諸件ナリ

第一 養育

親ハ其子相當ノ勉強ヲ為シテ一身ノ養フヲ
得ルニ至ルマテ之ニ飲食衣服ヲ給スルノ任ア
リ其費ノ多寡ハ親タル者之ヲ決セラルヘカラ

ス子ヲ養育スルニ奢侈ニ過キ或ハ甚々儉薄
ニ過ルハ宜シカラス親ハ亦其子ヲ保護スルノ
任アリテ之カ為メニ害ヲ防キ人ノ凌辱ヲ受ケ
サラシムヘシ

第二 身躰ノ教育

世上迄来ニ至ルマテ身躰ノ健康強壯ノ大切ナ
ルヲ知ル者少ナカリシハ實ニ嘆スヘキノコナ
リ健康強壯ヲ得ルノ方ハ只身躰ヲ運動スルト
情慾ノ節スルト幼時ノ注意トニアリ故ニ身躰
ノ教育ヲ行フテ其子ノ身躰ノ能力ヲ盡ク

發生セシメ之ヲシテ艱苦ニ慣ラシ勤勞ニ堪フ
可カラシムルハ親ノ職務ナリ之ヲ行フニ欠ク
ヘカラサル注意ハ親ニ非ラスモテハ之ヲ能ク
スル者稀ナルヘシ

第三 精神ノ教育

精神ヲ有ツ者ノ樂ハ大イニ精神ノ教育ニ關係
スルヲ勿論ナレハ此ノ如キ教育ハ幼時ニ於テ
之ヲ行フヘキヲ明カナリ其故ハ此時ヲ過シハ
人各自ラ一身ノ生計ノ為メニ其時間ヲ用ヒサ
ルヲ得サレハナリ

精神ノ教育ニ於テ親タル者左ノ任アリ

- 其一 親タル者力ノ及ラタケ其子ノ所好ト才
幹トニ應レテ相當ノ教育ヲ授クヘシ
- 其二 事業ノ成功ヲシテ最モ十分ナラシムヘ
キ良師ヲ選ムヘシ
- 其三 師ノ能ク其職務ヲ勤ムルヤ否ヤヲ検査
シ其子ヲ鼓舞シテ學業ニ勉強セシムヘシ
- 其四 親タル者右ノ如キ職務アル片ハ之ヲ行
フカ為メ別ニ時間ヲ費ヤスノ任アリ諺ニ曰ク
人各其職務ヲ行フノ時間アリト謹テ之ヲ忘ル

ル勿レ親タル者親タルノ職務ヲ行フカ為メニ
天ノ備ヘタル時間ヲ職業若クハ歡樂等ニ用フ
ルノ權ナシ

父母其子ノ教育ニ財ヲ費ヤスヲ惜ム者アリ尤
モ異レハ可キ事ナリ財ヲ積テ之ヲ其子ニ傳ヘ
シカ為メニ自ラ情欲ヲ制レヌ其子ニ教育ヲ授
クル些少ノ費ヲ惜ム者アリ縱令子孫ニ幾許ノ
産ヲ遺スル教育ナキハ其幸福トナルヲ甚々
疑フヘシ世間ノ人其子ニ教育ヲ授クルヲ見ル
ニ多クハ孰レノ学校モ皆一樣ニシテ優劣ナク

只費ノ少ナキ者ヲ擇ムノ外別ニ議論無キ者ノ
如シ之ニ因テ數「ドル」タルノ金ノ為メニ其子ノ
精神ノ切磋ト習慣トヲ決定シ甚シキハ塵藪「セ
ン」ト為ニ之ヲ裁決スル「ト」少ナカラス

第四 脩身ノ教育

品性ノ善惡ハ大イニ幼少ノ時脩身ノ教育ニ関
係スル者ニシテ畢生ノ苦樂モ亦之ニ因ル「ト」固
ヨリ論ナシ小兒ハ脩身ノ教育ヲ教訓ト模範ト
ニ因テ其父母ヨリ受ケサルヘカラス此教育
行フノ方法ニ付テ父母タル者天ノ責ヲ負フモ

ノナリ故ニ父母ニ左ノ職務アリ
 其一 其子ニ天ト人トニ對シテノ職務ヲ教ヘ
 之ヲシテ人ハ脩身ノ責ヲ負フ者ナルコトヲ知ラ
 シムヘレ之ヲ行フノ方法ハ經典ノ道理ト教試
 ト趣意トヲ教フルヲ專一トスヘシ
 其二 勉メテ其子ノ不善ナル所好ヲ除クハ親
 ノ任ナリ傲慢頑固、惡意猜忌、報復、忿怒、虛言等
 ノ如キ不善ヲフハ之ヲ其初ニ察シ年齒一因リ或
 ハ姑息ノ為メニ習慣痼ヲ成シ動カスヘカテサ
 ルニ至ラサキ以前勉メテ之ヲ除クヘシ

其三 自ラ善事ヲ行フテ其子ニ模範ヲ示シ其
 教訓ヲシテ大ニ裨益アラレムヘシテホシ其行フ所教
 ノル所ト及スル所ハ其子教訓ヲ輕忽ニシテ其
 行跡ニ倣フモノナリト知ルヘシ
 其四 脩身ノ教育ニ於テモ他ノ諸事ニ於ル如
 ク天ノ恩惠ナキ所ハ勞シテ其功ナカルヘシ故
 ニ父母一心天ノ助ニ倚賴シテ之ヲ行フノ任メ
 リテ其子ト共ニ天ニ祈リ其助ヲ乞フヘシ
 其五 子ノ品性ハ大ニ其交遊ニ關係スルカ
 故ニ父母常ニ之ニ注意シテ其品性ヲ損フヘキ

親友ニ交ラシメ或ハ之ヲ損フヘキ地位ニ居ラ
レムヘカラス

其六 親ノ子ニ對シテノ間ハ排行孰ノ子ニ於
テモ皆一様ナリ故ニ父母其諸子ヲ遇スル公正
ニシテ偏頗無カルヘシ

親ノ權ヲ論ス

親ノ權ハ其職務ト相等シクシテ其子ノ身軀精
神階身ノ教育ヲ行フノ責ヲ負フカ如ク亦其責
ヲ行フカ為メニ欠クヘカラサル身軀精神修身
ノ制御ヲ為メノ權アリ

親ハ其子ノ費用ト身軀ノ習慣ト其教育ノ處一
方ト其交ルヘキ階身ノ教育ノ種類ト其交ルヘ
キ友トニ選擇スルノ權アリ勿論ナリ又何等
ノ方法ニテモ道理ニ背クモノニ非ラサレハ之
ヲ用テ其子ヲシテ己ノ意ニ從ハレムルノ權ア
リテ審ニ利害ヲ判断シ才幹ヲ盡シテ其子ノ益
トナルヘク此權ヲ用フルヲ親ノ任トス且レ親
ノ權柄ノ存スル間ハ其權柄最モ尊キカ故ニ若
シ親ノ謬誤アルキ之ヲ補ヒ救フノ方ナシ
然レモ親ハ職務ト權トハ永ク存スルモノニ非

ラス
予歳時ヲ歴ルノ間ニ自ラ一身ヲ養ヒ自ラ精神
ヲ研キ自ラ脩身ノ職務ト任トテ決断スルヲ得
ルニ至ルハレ此ノ如クナルガハ親ノ責ノミヲ
以テ論スレハ親子ノ間全ク終ルモノトス此特
限ハ予ノ成人トナル時ニシテ國法ニテハ二十
一歳ニ滿ル時ト定ムレド事實ニ於テ之ヨリ早
キモノアリ或ハ邊キモノアリ
師ノ權柄ハ父母ノ委託セシ權柄ニテ師ハ父
母ニ對シテ責ヲ負ヒ弟子ニ對シテ責ヲ負フモノ

ニ非ラス是ヲ以テ師ノ弟子ニ於ルハ猶親ノ子
ニ於ルカトシテ師ハ上ニシテ弟子ハ下ナリ師
ノ職務ハ師ト父母トノ相互ニシテ約定セシ箇条
ニ用テ定限アリ其權ハ常ニ其職務ト相等シ且
チ委任ヲ受ケタル目的ヲ達スル為メニ必要ナ
ル權アルモノニシテ此定限ノ内ニ於テハ何事
ニテモ弟子ニ命令スルノ權アリ又弟子ハ之ニ
從フヲ以テ職務トス

第八章
子ノ職務及ヒ其權ヲ論ス

子ノ職務ハ左ノ諸件ナリ
 第一 從順即チ父母ニ命セラレタル事ハ其當
 否ヲ論セズ只其父母ノ意タルノ故ヲ以テ之ニ
 從フノ任アルノ云フ獨リ本心ニ關係セル事件
 ハ此例ニ非ラス子タル者其父母ニ從フヨリハ
 寧ロ天ニ從ハサルヘカラス故ニ父母ノ命ト雖
 非ナリト思ノ事ヲ行フノ任ナリ然レ此ノ如
 キ時ニ於テモ猶父母ニ抗抵シテ之ト爭論スル
 ノ權ナシ
 第二 父母ヲ尊敬スヘレ尊敬トハ下ヨリ上ニ

對シテ當然ナル行ト感覺トヲ云フモノニレテ
 子其父母ニ對シテハ他人ニ施サ、ル尊敬ヲ行
 フヘシ是必シセ辱トスヘキ事ニ非ラス却テ其
 榮ニシテ子ノ父母ヲ尊敬スルヨリ威儀アリテ
 礼ニ合フモノナシ佛蘭西帝ナポレヲニ權威威
 大ノ極ニ於テ其母ヲ尊敬セシ時ノ如ク威儀ア
 リレド無カリキ此道理ヲ推シテ考フレハ長者
 ハ總テ尊敬スヘキモノナルヲ知ルヘシ
 第三 孝愛即チ父母ノ父母タルノ故ヲ以テ子
 之ヲ愛スルノ情ナリ父母ハ人類タルニ因リ或

ハ其善人タルノ故ヲ以テ之ヲ愛スヘキノ理ナ
キニ非ラサレト別ニ其父母タルノ故ヲ以テ之
ニ對レテ一種ノ愛情ヲ懷クヘキモノナリ比ニ
因テ常ニ父母ニ關係スル事ハ輕率ニ之ヲ談セ
ス其樂トナルヘキ事アラハカヲ竭シテ之ヲ求
ムヘレ總テ是等ノ事ヲ行フニ父母ノ父母タル
ノ故ヲ以テ之ヲ愛スルノ情ヨリ出ルヲ人ノ職
務トス此愛情アルハ父母ニ事フルハ何様ノ
景況ニ於テ之ヲ行フニ少シモ勞苦トナラスレ
テ却テ樂トナルヘレ

第四 父母老イテ後人ノ扶助ヲ要スルハ
ヲ養フハ子ノ職務タリ老衰貧窮ナル父母ノ需
ニ供給スヘキ為メ甘レシテ已ニ克テ其奢侈若
クハ便利ヲ廢セサルモノハ其愚ヲ知サルノ罪
人類ノ所行ニ非ラス
唯必要ノ扶助ノミニ非ラスレテ父母ノ貧窮ナ
ラザルモ亦子ノ之ニ對レテ行フヘキ好意懇
記恩ヲ表スヘキノ事數種アリテ之ヲ為メ大イ
ニ父母ノ樂ノ増シ能ク老後ノ鬱悶ヲ消スルモ
ノナリ小心ニシテ仁惠從順ナル子ハ孝愛ヲ表

スルノ機會ヲ求ムルヲ其樂トスヘシ
經典ニ於テ子ノ職務ヲ説クヲ叮嚀ニシテ且其
教誡人心ヲシテ感動セシムルニ足ル令一二ヲ
舉テ其例トス

曰ク天ノ賜ヲ所ノ國ニ於テ汝ノ日月ノ長カラ
ンヲ欲セハ汝ノ父母ヲ敬スヘシト聖徒ホリ
ルノ言ヘル如ク十誡中ニ於テ持ニ約束ヲ添フ
ルハ獨リ此箇条ノミ
曰ク我子ハ汝ノ父ノ教訓ヲ守リ汝ノ母ノ法則
ニ背ク勿レ是レ汝ノ頭ヒノ美麗ナル飾ニシテ

汝ノ頸ノ鏈ナルヘシ

曰ク賢良ナル子ハ父ノ教訓ニ從ヒ頑愚ノ者ハ
譴責スレバ聽カス

曰ク子天ニ於テ父母ニ從フヘシ是レ正レキ行
ナリト按スルニ天ニ於テトハ天ノ意ニ從フテ
ト云フノ義ナラレ

曰ク子何事ニ於テモ父母ニ從フヘシ是レ天ノ
甚ク好ミスル所ナリ

天ノ誠ヲ破ル者ニ對シテ天ノ怒ヲ告ルヲ屢ナ
リ左ニ其例ヲ掲ク

曰ク其父母ヲ輕ンスル者ハ禍ヲ蒙ルヘシ而
シテ人皆然リト謂フヘシ

曰ク愚人ハ其父ノ教訓ヲ輕レス

曰ク其父ヲ戯弄シ又其母ニ從フヲ輕蔑スル
ノ眼ハ幽谷ノ鳥之ヲ扶出シ鷹隼之ヲ食フヘレ
ト是レ非命ニ死シテ其終ヲ善クセサルヘシト
云フ義ナリ

右ニ引用セシ經典ノ教誡ニ由テ左ノ事件ヲ知
リ得ヘシ

第一 經典ハ父母ニ從フヲ教法ノ職務ナリト

シテ之ヲ教誨ハ故ニ此職務ヲ破ルヤハ人ニ對
シテ罪ヲ犯スル也知リ亦天ニ對シテ罪ヲ犯セル
モノニシテ經典ニ教テハ父母ニ從順ナラサル
ヲ以テ天ノ最モ惡ム所ノモノナリトス

第二 父母ニ從順ナルハ決シテ卑陋ノ所行ニ
非ラス却テ其榮ニシテ人ニ一層ノ美ヲ加フル
モノナリ

第三 父母ニ從順ナラサル者ハ非常ノ罰ヲ蒙
ルヘキモノニシテ古來ノ經驗ニ據ルニ幼時
父母ニ不孝ナル者ハ必ズ成長ノ後ニ至リテ恥

ヲ致シ不幸ヲ招クモノナリ
子ハ父母ノ前章ニ記セシ如キ職務ヲ行ヒ最モ
其子ノ益トナルヘク其權柄ヲ用フヘキヲ期望
スルノ權アリ然レモ父母其職務ヲ欠クハ不
孝ヲ行フテ可ナリト思フヘカラス綴令父母父
母タラスト雖モ子ノ之ヲ愛敬スルノ職務ハ天
ノ確定セルモノニレテ依然トシテ變ハズ
子ノ權ト職務トノ存スル時間ヲ論ハ
父母其子ニ代テ其行ノ責ニ任シ子ハ其父母ニ

倚賴スルノ間ハ何事ニテモ己ノ意見ヲ用ヒス
レテ父母ニ従フハ子ノ任トス而シテ子自ラ一
身ノ責ニ任スルニ至レハ後順ノ任終ル然レモ
其後ニ於テモ指教ノ貴重ニレテ私無多且ツ大
抵善良ナルハ父母ノ如キ者ナシ
父母ヲ敬シ父母ヲ愛スルノ任ハ生涯存スルモ
ノニシテ年ヲ経ルニ隨ヒ寧ロ増スヲアルモ減
スルヲナシ子ハ年ノ長スルニ隨テ次第ニ尊敬
ヲ行フ憐愛ヲ表スルノカヲ生シ父母ハ老ルニ
隨ッテ次第ニ人ノ服事ノ必要ナルヲ覺ニ其樂

次第ニ之ニ關係スルニ至ル是レ幼少ノ時父母
撫育之恩ヲ報シ且ツ輕率剛愎ニシテ父母ヲ苦
シマシメタル罪ヲ償フノ時ナリ
師ノ弟子ニ於ルハ猶親ノ子ニ於ルカゴトシト
ハ前章既ニ之ヲ載セタリ叔弟子ノ師ニ於ルハ
猶子ノ親ニ於ルカゴトクニシテ父母ニ從順ナ
ルヘキ道理ニ本ツキ亦其師ニ從順ナルヘシ師
弟ノ間ヲ存スルト否トハ父母ノ決斷ニ倚ルモ
ノニシテ其存スル間ハ從順尊敬愛情ヲ以テ弟
子ノ職務トス

第九章

人民ノ職務ヲ論ス

第一条

政府ノ本義

譬ヘハ茲ニ男女凡ソ二十人アリ其家族ト共ニ
無人ノ絶島ニ漂流セシキハ直ニ家ヲ造リ地ヲ
耕シ動物ヲ捕ヘ以テ風雨ヲ避ケ飢餓ヲ免ルル
ノ備ヲ為サハルヲ得ザルヘシ此ノ如クニシテ
各家ノ造築收納漁獵セシ所ノ物ハ各其所有ト
為ス可キヲ勿論ニシテ何人ニテモ之ノ他人ト

貿易セシルハ貿易シテ得タル物モ亦其所有品
 タレヘシ即チ人各己ノ為ニ勞動シテ已ノ製
 作セシ物ヲ己ノ所有品ト為スヘシ
 各人此ノ如クニ行フテ相互ニ妨害ヲ為カ
 レハ安樂ニ歲月ヲ送り法ヲ立テ政府ヲ設ケル
 ヲ要スルヲ然レモ若シ何人ニテモ其行之
 ニ差ヒ或ハ隣人ノ家菰ヲ追出シテ其家ヲ奪ヒ
 或ハ隣人穀物ヲ收納セシ片往テ之ヲ掠メ之ヲ
 己ノ家ニ輸送シテ隣人ノ餓死スルニ任シ他人
 亦之ヲ見テ其勞セスシテ生計ヲ得ルノ便利ヲ

羨ミ復タ其隣人ニ對シテ同様ノ事ヲ為サント
 スヘシ此ノ如クニシテ何人モ其勞動ノ報ヲ享
 クルヲ能ハサル片ハ終ニ一人モ勞動スル者ナ
 クシテ或ハ餓死シ或ハ其家ヲ去リ獨リ無人ノ
 地ニ赴キ常ニ荒野ニ住ムノ不便ヲ受クルニ至
 若シ家ヲ失ヒシ者報復ヲ謀リテ之ヲ奪ヒシ者
 ノ家ヲ燒クキハ雙方共ニ家ニ離シ財ヲ失ヒタ
 ルヲ以テ他ノ二家ノ所有ヲ奪フハシ然ル片ハ
 家ヲ失ヒタル二家亦之ヲ奪ヒタルニ家ヲ燒テ

懲ヲ復レ此ノ如クニシテ終ニ家屋財産一モ存
 スルモノナク殖民民忽チ盡クルニ至ラサレハ止
 ムトナカルヘシ
 扱世間ニ右ノ如キ事ノ有ラサルト勿論ニシテ
 此ノ如キトハ之ヲ禁止セサルヘカラス其方法
 ハ只之ヲ其初一技テ禁止スルニ在リ故ニ始メ
 テ盜賊ヲ行フ者アル片ハ總社中舉テ之ニ逼リ
 其奪ヒタル所有ヲ本注ニ返サレノ再ヒ盜賊ヲ
 行フ者アル片ハ必ラス此ノ如ク為スヘシトノ
 約束ヲ定メサルヲ得ス然レモ猶盜賊ノ絶エサ

ル片ハ之ヲ罰スルノ方法ヲ定メ其隣人ノ所有
 ニ妨害ヲ為ストヲ得サレハベシ是即チ此小
 社中第一ノ法ナリ
 社中右ノ法ヲ立テ他人ノ所有若クハ權ニ對シ
 テ妨害ヲ為ス者無カラシメントスルヲ以テ何
 人ニテモ自ラ其讐ヲ報シ或ハ人ノ為メニ奪ハ
 レタル者ヲカフ以テ之ヲ復セントスルヲ要セ
 ス故ニ社中約束ヲ結ヒ何人ニテモ人ノ為メニ
 害ヲ被ムリシ片自ラ報復ヲ行ハスレテ必ス社
 中ニ訴ヘ其裁判ヲ乞フヘシト定ムヘシ其故ハ

害ヲ被リレ人自ラ害ノ大小ト何等ノ補ノ相當ナルヤヲ決スルハ他人ノ之ヲ決スルノ公平ナルニ如カスレテ何人ニテモ己ノ事件ヲ自ラ裁判スルハ甚タ宜ヒカラス是即チ此社中第二ノ法ナリ

然ルニハ此ニ方ハ第一何人ヲ問ハス何様ノ方法ヲ論セス其隣人ノ權ヲ妨クヘカラス第二何人ノ為メニ妨ヲ受ケタルモ妨ヲ受ケタル者自ラ報復ヲ謀ラスレテ總社中ニ訴ヘ其裁判ヲ乞フヘシ是ナリ

時ヲ經ルノ間妨害ノ類一ナラス法モ亦隨テ數條ニ分レサルヲ得ス人其隣人ノ土地ヲ侵ス一アリ之ヲ補フノ法無カルヘカラス或ハ白晝盜ヲ行フアリ或ハ夜中盜ヲ行フアリ或ハ家ヲ破ルアリ或ハ馬ヲ盜ムアリ之ヲ罰スルノ法各異ナラサルヲ得ス妨害ノ報復ニ於テモ亦然リ或ハ害ヲ為セシ者ヲ打テ怨ヲ報スルアリ或ハ其家ヲ燒テ讐ヲ復スルアリ是等ノ罪惡ハ一々之ヲ區別シテ明亮ナラシメ無罪ノ者ヲシテ有罪ノ者ト混スルコトナク有罪ノ者ト相當ノ罰

免ル、無カラレムヘレ
社中ノ人口増シテ法ヲ立ルモ亦多カラサル
ヲ得サルニ至ルキハ事有ル毎ニ衆人盡ク集會
スルヲ能ハサルヘシ故ニ數人ヲ命シテ其名代
トナシ之ヲシテ法ヲ立ルノ事ヲ掌ラシメサル
ヲ得ス之ニ因テ八九人ノ人共ニ謹慎賢明ノ者
一人ヲ選テ其名代ト為シ集會ニ於テ名代人ノ
同意セシ事ハ必ス之ヲ守ルヘシトノ約束ヲ定
ムヘシ此名代人ハ即チ立法官ニシテ其集會ハ
即チ公會ナリ

法ヲ立レ後妨害ヲ為スレ屢ナルハ雙方ノ曲
直ヲ決ヒシカ為メ總社中舉テ集會スルヲ能ハ
ス故ニ數人ヲ命シテ訟ヲ聽キ國法ニ依テ之ヲ
裁決スルノ事ヲ掌ラシメサルヲ得サルヘシ此
ノ如クスレハ時ヲ費以テ少ナクシテ裁判モ亦
其宜ヲ得可シ之ヲ掌ルノ人ハ即チ司法官ニシ
テ其集會スル片之ヲ裁判所ト云フ
司法官曲直ヲ決シ惡人ノ罰ヲ定メタル後之ヲ
實地ニ施スノ人無カルヘカラム之ヲ行法官ト
名ク奉行セリコンスターブ
ノ類即チ

是ナリ

叔立法司法行法ノ三官ヲ合シテ之ヲ國ノ政府ト名ツク是等ノ官吏ハ法ヲ立テ之ヲ實地ニ施用シ國中ニ於テ一人モ其隣人ノ權ヲ妨クル者無カラレメ若シ之ヲ妨クハ者アレハ之ヲレテ補フ為シ其罪惡ノ罰ヲ受ケレメン為ノ人民ニ其職ヲ命セラレタル者ナリ

是ヲ以テ人民ノ職務ハ大抵左ノ件々ナリ

第一 人民ハ何人タリモ其隣人ノ權ヲ妨クヘカラストノ約束ヲ結ビタルヲ以テ自己モ亦此

法ニ背クヘカラス他人ト相交ルノ際其身體ノ自由品性評判所有家族ノ事ニ關係シテ人間相互ノ職務ニ従フヘク即チ己ノ欲スル所之ヲ人ニ施スヘキヲ云フ

第一 他人此法ニ背キテ己ヲ害スルトアリモ自ラ補フ求メスレテ之ヲ社中ニ任レ即チ約束ノ如ク之ヲ裁判所ニ訴ヘ其裁斷ヲ乞フヘシ
第三 國法ハ總テ立法官之ヲ立ツヘントノ約束ヲ為セルヲ以テ立法官人民ノ委任セル權柄ヲ用テ定メタル國法ハ總テ之ニ従ハサルヘカ

ラス

第四 人民ハ各人ヲ保護スヘレト約束ヲ結ビタル社中ノ一人ナルヲ以テ人ヲ保護セシ為メ必要ナル方法ヲ盡シ貴賤貧富各十分ニ其權ヲ用テ己ノ樂ニ供スルヲ得セシメ若レ他人ノ為メニ妨害ヲ受クル者アラバカヲ極メテ十分ニ其補ヲ得セシムヘレ

第五 政府ノ目的ヲ達スルニハ費用ナカルヘカラス行法立法司法ノ諸官皆之ニ俸祿ヲ與ヘサルハカラス而レテ各人政府ノ恩澤ヲ蒙ラザ

ル者ナリ故ニ甘レテ其費用ヲ出ス可シ

茲ニ一例ヲ設ク上ノ諸説ヲ解明スヘレ譬ヘハ甲乙ニ為メニ其馬ヲ竊ハレ國法無ク亦政府無キ時ハ自ラ行テ馬ヲ返サレトケ乙之ヲ肯マサルベシ若レ甲カヲ以テ之ヲ復セルトスル時ハ乙之ニ抗抵レテ若レ其力甲ヨリ強キ時ハ之ヲ逐ヒ之ヲ傷ケ或ハ再ヒ煩勞ヲ受ケサラレカ為メ之ヲ殺スト無キニ求ラズ此ノ如キ時ハ甲必レモ補ヲ得ルニ能ハスモテ翌日ニ至リ乙再ヒ甲ノ牛ヲ掠メ或ハ其家ヲ奪フトアル時

申之ヲ避クルト能ハサルヘレ
但シ國法アリ政府アル片ハ雲泥ノ差ニシテ偷
盜ヲ禁スルノ法アリ人ノ偷盜ヲ行ヒタルト否
トヲ決スルノ司法官アリ賊ヲ罰シ其奪ヒタル
所有品ヲ本主ニ返スノ官吏アルヘシ
諸甲乙ノ為メニ馬ヲ竊マル、キハ乙ノ許ニ赴
キ之ヲ返サレトテ乞ハスニテ執締役ノ處ニ至
リ乙ノ馬ヲ竊ミタルトテ訴ノヘシ然ル片ハ執
締役即時ニ乙ヲ呼ヒ若シ乙来ルトテ肯レセサ
ズハ乙多ク市中ノ人ニ命シテ其助ヲ借リ強ク

之ヲ伴ヒ来ルノ權柄アルヘシ然ル片甲乙各其
辞ヲ述ヘ若シ甲馬ノ己ノ物タルヲ証スルトテ
得レハ執締役之ニ馬ヲ與ヘシハ詮議ノ為メ之
ヲ入牢セレメ上等ノ司法官集會セシ片近傍ノ
者十二人ヲ命シテ立合人ト為シ乙ヲ立合人ノ
前ニ呼ヒ立合人ヲシテ證據ヲ探リ乙ノ馬ヲ竊
ミタルヤ或ハ他ノ方法ニテ之ヲ得タルヤヲ詮
議セシメ立合人ハ罪ノ有無ヲ決シ司法官ハ法
ヲ按シテ其罰ヲ定メ若シ罪無キ片ハ之ヲ免ル
シ罪アル片ハ司法官國法ニ從テ竊盜ヲ罰シ其

罪入牢ニ當レハセヨ之ヲ入牢セシメ期限ノ
満ルマテ之ヲ幽囚スヘシ

此例ニ由テ考フレハ國法アリ政府アルキハ人
各公平ノ裁判ヲ得ルヲ國法無ク政府無キニ比
スレハ幾倍セルヲ知ラス故ニ此ノ如キ國法アル
文明ノ國ニ住スルハ一大幸福ト謂フヘシ

第二條

政府ノ種類

前條ニ於テ記載セシ政府ハ人選政府ト名ツク
ル者ニシテ諸官或ハ人民ノ選舉ニ依テ之ヲ命

レ或ハ人民ノ選舉ヲ受ケタル者人ヲ選ミテ之
ニ任ス我合衆國ニ於テ立法官奉行大統領等ハ
人民ノ選舉ニシテ司法官及ヒ他ノ官吏ハ或ハ
人民ノ選舉ニ依テ之ニ任スルアリ或ハ立法官
之ヲ命スルアリ

然レモ政府盡ク人選ニ非ラス亦世襲政府ト名
ツクルアリ子孫父祖ノ職ヲ襲フ者是ナリ此種
類ノ政府ニ於テハ王死スルキハ其子代テ王ト
ナリ其家屋田地ヲ承クル如ク亦其職ヲ襲キ若
シ父立法官タルキハ其子亦父ノ職ヲ襲テ立法

官トナル

是等ノ外別ニ政府ノ種類ヲ分テ立君政府、貴族政府、共和政府トス

立君政府トハ王ト號スル者一人ニテ大權ヲ握ル者ニシテ若シ人ヲ選テ王ト為スルハ之ヲ人選立君ノ政府ト名ツカ子孫父祖ノ職ヲ襲テ王トナルホハ之ヲ世襲立君ノ政府ト名ツク

立君政府ニ於テ王己ノ隨意ニ法ヲ立テ己ノ隨意ニ人民ノ生命所有ヲ處置シテ何人モ之ヲ制御セサルモノアリ之ヲ獨裁立君ノ政府ト名ツ

ク又國ニ一定ノ法則アリテ王之ヲ犯スヲ能ハサルモノアリ即チ何等ノ法ヲ立ルモ先ツ別人ノ同意ヲ得ルニ非ラサレハ己之ヲ專ラニスルヲ許ハサルモノ是ナリ之ヲ定律立君ノ政府ト名ツク

貴族政府トハ數人ノ貴族國ノ全權ヲ握ルモノ是ナリ此政府ハ大抵世襲ニシテ若シ然ラサレハ政府ニ欠負アルルルハ貴族中ノ人ヲ選テ其職ニ任ス

共和政府トハ前ニ記載セレ如キモノニシテ諸

官或ハ人民ノ選舉ニ依テ之ニ任レ或ハ人民ノ
選舉ヲ受ケタル者人ヲ選テ之ニ任ス
是等ノ政府ノ種類ハ純一ナルモノアリ或ハ混
合セルモノアリ

魯西亞ノ政府ハ純一ノ立君政府ニシテ帝ノ共
ニ事ヲ議スル所ノ者ハ唯己ノ命シタル評議人
ノミニシテ限ナキ權柄ヲ有スルモノナリ
英國ノ政府ハ混合ノ立君政府ニシテ王ト上院
ト下院トノ三部ヲ合セタルモノナリ
王ノ職ハ世襲ニシテ王ハ國中ノ首長ナリ

上院即チ貴族ハ立法官ノ第二部ニシテ其職亦
世襲ナリ初ハ王ヨリ命セラレト雖ハ此一度
貴族トナル片ハ子孫相襲テ永ク之ヲ失フコト無
シ立法官ノ第三部ハ下院ナリ下院ハ共和政府
ニ於ルカ如ク人民ノ選舉ニ依テ之ヲ命スルモ
ノニシテ總テ英國ノ法律ハ王、上院、下院ノ三部
盡ク同意スルニ非テサレハ之ヲ立ルコト能ハス
何等ノ政府ニシテモ官吏有徳ノ人ニシテ心ヲ用
テ國々ノ安全ヲ謀ル片ハ其國太平安穩ニシテ
人々其樂ヲ樂ムコトヲ得可シ然レハ是等ノ政府

ノ中ニ有テ官吏不善ニシテ殘忍暴虐ナル者ハ
變革ス行ヒ内亂ヲ起スニ非ラサレハ其權柄ヲ
制御スルノ術無キモノアリ然ルニ人選政府ニ
於テハ權柄人民ノ手ニ在テ政府ノ暴虐ニ苦レ
ハ、危險無シ只人民互ニ相害スルヲ以テ其危
險一スル、ミ然レモ此危險ハ尋常世人ノ思想
スルヨリ甚タ大イナルモノナリ

第三條

合衆國ノ政府

合衆國ハ其初歐羅巴ヨリ居ヲ移シメイン州

シヨルジア州トノ間ノ大西洋ノ岸ニ上陸セシ人
民ノ殖民セシモノニシテ就中英國ヨリ移レル
者最モ多シ是等ノ移民其居ヲ定ムルニ至テ各
政府ヲ設ケ其數ノ増スニ及テ境界ヲ定メ數政
府ニ分レテ全海岸ヲ領セリ然レモ皆英王ヨリ
免狀ヲ受テ其附屬タラサル者ナク奉行ハ大抵
英王ノ命セシ所ニシテ司法官等モ亦之ニ因テ
命セラレシ者少ナカラス
移民ノ權柄強大ナルニ及テ本國ト隙ヲ生シ終
ニ亞墨利加革命ノ亂トナリテ永ク英國ノ管轄

五

ヲ離レ高國ノ許ヲ受テ其善トスル所ノ道理ニ本
シキ其好ム所ノ方法ヲ以テ別ニ政府ヲ立ルノ
自由ヲ得タリ

革命ノ亂終テ後直ニ政府ヲ立ンカ為メ諸州ヨ
リ名代ハテ出シ一千七百八十七年九月十七日
政體一決シテ之ヲ諸州ニ示シ其允許ヲ乞ヒシ
カ終ニ諸州盡ク之ヲ允許セリ是即チ方令我國
ノ政府ナリ

此政府ノ大略ハ即チ左ノ如シ
各州英國ノ管轄ヲ離レシテ大政府ニ委任セシ

權柄ノ外總テ従前ノ權柄ヲ保チ其官吏ヲ命シ
其法ヲ立テ其罪人ヲ罰シ總テ全國ニ關係スル
事ニ非ズサレハ之ヲ專ラニスルノ權柄アリ
但シ一州ノ安全ニ關係セス廣ク全國ノ安全ニ
關係スル事ハ大政府ノ任ナリ然レモ大政府ノ
權柄モ政體ニ因テ限アリテ之ヲ踰ユルヲ能ハ
ス

合衆國政府ノ首長ヲ大統領ト名ツク其在職四
年ヲ限トシ諸州ノ人民若クハ立法官ノ選ミタ
ル選舉賢ヲ選テ之ヲ命ス

合衆國ノ立法官ハ分テ上院下院ノ二部トス
 上院ノ議員ハ一州毎ニ二人ヲ出レテ在職六年
 ヲ限ドシ州ノ立法官人ヲ選テ之ヲ命ス
 下院ノ議員ハ諸州ノ人民ノ選舉ニシテ每七万
 零六百八十人中ヨリ一人ヲ出シ在職二年ヲ限
 トス總テ合衆國ニ於テハ大統領ト上下兩院ト
 ノ允許ヲ受ケサレハ國法ヲ立ルヲ能ハス但シ
 兩院ノ議員同意スル者三分ノ二ナレハ大統領
 之ヲ拒テ同意セスト雖モ立テ國法トスルヲ
 得

大統領ハ上院トハ外國ト盟ヲ結ビ又合衆國裁
 判所ノ司法官外國使節海陸軍ノ士官等ノ如キ
 大官ヲ命スルノ權柄アリ
 合衆國裁判所ノ司法官ハ總テ合衆國ノ法ヲ犯
 セル事件此州ノ人民ト彼州ノ人民トノ訟及ヒ
 合衆國ノ人民ト外國人トノ間ニ起レル争ヲ詮
 議スルノ權柄アリ諸州ノ法ヲ犯セル罪ハ本州
 ノ司法官之ヲ詮議シ每州奉行ト一部若ハニ
 部ノ立法官アリテ其政體ヲ供ヘ其法ヲ定メ其
 官吏ヲ命シ總テ其州ノ安全ニ必要ナル事ハ之

ヲ行フノ事柄アリ

仁惠ノ職務ヲ論ス

第一章

仁惠ヲ論ス

是マテ論シタル職務ハ人間相互ノ職務ニ由カ
 人ノ之ヲ他人ニ行フヘキ者ニ又他人ヨリ之ヲ
 要スルノ權アリ即チ己ノ隨意ニ其樂ヲ求ムル
 他他人ノ故意ニ其樂ヲ求ムルノ權ヲ妨ケヘカ
 ラサルノ職務是ナリ
 人只此職務ニ付テ他人ノ妨ヲ為サハルノミト
 雖此方ニ
 素況ニ比スレハ世上大ニ安樂ニ

言 行 卷 之 二
シテ絶ニ泰虐盜賊讒言等ノ如キ人ノ害トナル
ヘキトナクハ々平和安穩ニ歲月ヲ送ルコトヲ得
ヘシ
然レモ世トフシテ十分ニ安樂ナラズルニハ
他人ノ方ヲ為サレハ外猶欠クヘカラサルノ
爲メトシテ即チ當他人ノ事ニ關係シテ其妨害ヲ
為サレハルノモナラス亦之ニ對シテ善事ヲ行フ
ヘキ之ヲ仁惠ノ定則トス
夫レ人ハ時トシテ病ヲ受ケルノ恐アラサル者
ナク或ハ多病ニモテ常ニ健康ノ日ヲキキ者アリ

予病中ハ勞働シテ衣食ヲ得ルコト能ハス甚タレ
キハ自ニ起ルスルコト能ハサルニ至ルアリ
若シ然ルハ人ノ之ヲ失ケサレハ病人必ス死ニ至
ルハレ且人ハ偶然ノ災害ニ遭フコトアリ之ヲ助
ル者ナキハハ艱難ヲ免ルコト能ハス譬ハハ途
上ニ於テ小女ノ車ニ隣ラレタルヲ見レバ已レ
其思ヲ受ケタルコトナキノ以テ己レノ職業ヲ務
ムレカ為メ其死ニ至ルヲ顧ミサルハ實ニ大惡
ニレテ人ノ以テ此小女ヲ見レトナク以後亦之
ニ逢フコトナガルヘレト雖ルカヲ盡シテ之ヲ救

フノ任アルヲ覺ユ是即チ人ハ仁惠ヲ行ハト
 ノ任アルヲ覺ユルナリ
 又該ニ童子數人アリ書ヲ讀ミ字ヲ寫ストテ解
 セスレバ人ニ神益アルノ書ヲ讀ムノ樂ヲ享ク
 ルニ解ハス諸其近隣ニ二人ノ少年アリテ一人
 ハ童子ニ報スヘキノ恩ナキヲ以テ己ノ職業ヲ
 務ムルニ如スト謂テ之ヲ傾キス一人ハ童子ニ
 恩ヲ受ケタルト否トヲ論セス之ヲ集メテ讀書
 寫字算術ノ教ハ後來世間ニ有用ノ人タラシメ
 ニトスルハ二人ノ中孰カ最モ愛スヘトヤ孰

レカ其職務ヲ行ヒタルヤ孰レカ天ノ意ニ合ノ
 ト称スヘキヤ
 又是等ノ童子大惡ニレバ誓ノ為レ虚誕ノ吐キ
 偷盜ヲ行ノルハ善人其所行ヲ見聞レテ大ニニ
 之ヲ悲ムヘレ其中最モ兇惡ニレテ最モ長大ノ
 ル者ハ之ヲ罰スルヲ以テ其職務トスルノ外別
 ニ他ノ方無カルヘレ諸二人ノ中一人ノ曰ク此
 ノ如キ所行ヲ制止スルハ我人民タルノ職務ナ
 リ依テ是等ノ童子ノリテ獄ニ下ラレムヘレ然
 レバ其他ハ我關係スル事ニ非ラヌ若シ童子等

過ヲ改メテ終ニ身ヲ心ニ至ラハ自ラ招
ク爾レテ然ルニ一人ハ行テ之ニ其所行ノ不
善ナルヲ示シ親切ニ教諭シテ之ヲ善ニ導キ
盡ク善良ノ童子タラシムルハ二人ノ中孰レ
カ最モ好ミスハキヤ孰カ是等ノ童子ニ對シテ
其職務ヲ行ヒタルヤ孰カ天ノ意ニ從フト謂フ
ヘキヤ
又是等ノ童子人ヲ輕侮シ其所育テ備ハ其人杜
テ之ヲ教戒セントスルハ却テ之ヲ嘲笑シ多方
其害トナルハキヤ行フキハ去テ之ヲ顧ミス

シテ曰ク我彼等ヲ教ヘテ徳ニ進ミ樂ヲレケシ
メンカ為メ自ラ錢ヲ費ヤレ報ヲ受ケヌレテ来
レリ然ルニ却テ彼等ノ為メニ害ヲ被リ辱ヲ受
ケ物ヲ失フ我去テ彼等ノ身ヲ込スニ任スヘシ
ト或ハ曰ク我彼等ノ我ヲ遇スル何様ナラシ
ハスカヲ盡シテ其益トナルヘキコトヲ行フヘシ
彼等ノ我ニ對シテ愈惡事ヲ行フキハ彼等ノ教
諭ヲ要スルコト愈明カニシテ我愈力ヲ盡シテ之
ヲ善ニ導クヘシ彼等益我ヲ憎マハ我益彼等ヲ
愛ス可シト此兩様ノ所行孰レカ最モ愛スヘキ

ヲ人孰ノ所行ヲ為スヲ以テ其人物ヲ重ニスヘ
 キヤ孰カ人ノ職務ニ合ヘルヤ孰カ能ク聖人ノ
 模範ニ似タルヤ
 諸是等ノ例ヲ以テ考フレハ人ハ不幸ノ人不善
 ノ人及ヒ己ヲ害スルノ人ト雖氏之ニ對レテ仁
 惠ヲ行フノ任アルヲ覺ユルト知ルヘシ
 人ノ仁惠ヲ行フソ任アルトハ古書ニ載スル所
 ノ聖人ノ教ヲ見レバ明カナリ
 曰ク汝ヲ愛スル者ヲ愛スルハ恩ニ非ラス其故
 ハ罪人モ亦己レヲ愛スル者ヲ愛スルナリ汝

ヲ惠ム者ヲ惠ムハ恩ニ非ラス其故ハ罪人モ亦
 之ヲ行ヘハナリ受クルノ望アル者ニ貸スハ恩
 ニ非ラス其故ハ罪人モ亦再ヒ受クルノ望ヲ以
 テ罪人ニ貸セハナリ汝須ラク汝ヲ憎ム者ヲ愛
 シ報フ望マシテ仁惠ヲ施シ物ヲ貸スヘシ然
 ルバハ其賞大イニシテ汝ヲ天ノ子ト称スヘシ
 其故ハ天ハ恩ヲ知ラサル者及ヒ惡人ト雖モ之
 ニ對レテ親切ナレハナリ故ニ汝天ニ倣ヒ務メ
 テ慈悲ヲ行フヘシト
 又一本ニ曰ク汝天ノ子
天ニ倣フ者ノ義
 タラントテ汝

セハ汝ノ敵ヲ愛シ汝ヲ咒詛スル者ノ福ヲ願ヒ
汝ヲ憎ム者ヲ惠ミ汝ヲ凌辱スル者ノ為メニ祈
禱スヘシ其故ハ天ハ善人惡人ノ別ナク太陽ヲ
シテ之ヲ照サシメ正人ト不正人トヲ論セス雨
ヲシテ之ヲ霑サシムレハナリ
慈悲トハ人間相互ノ職務ニ由テ我ニ要スル
權ノク我之ニ施セ凡其報ヲ受クルノ望ナキ者
ノ樂ヲ達セシムルヲ云フ
仁惠ヲ行フノ方法ハ天ノ模範ニ倣フヘシ
之ニ由テ考フレバ左ノ諸件不明ナリ

第一 夫レ天ハ其造リタル萬物ニ對シテ一毫
ノ忤テシト雖モ之ニ樂ヲ與フルノ無盡藏ナリ
故ニ人其才識所^レ有テ用テ他人ノ樂ヲ達シメ
サルヘカラス總テ天ノ人ニ賜フ所ノ物ハ之ヲ
用テ直ニ己レノ樂ヲ得セシメレカ為メニ非テ
ズ人ヲ樂マシメテ己レノ樂ヲ得セシメレカ為
メナリ
第二 天普通ノ幸福ヲ與フルニ之ヲ受クル者
ノ人物ヲ論スルコトオク兩ヲシテ正人ト不正人
トノ別ナク之ヲ霑サシム人ニ亦此模範ニ倣ハ

サレハカラス夫ハ人物ヲ戀ニ徳行ヲ尚ムハ人
ヲ擇マサルヘカラスト雖ヘモ慈悲ニ於テハ之
ヲ要スル者フルルハ其人物ヲ論セス之ヲ施ス
ヘシ故ニ難難ヲ救ヒ禍災ヲ憐ミ貧窮ヲ濟ヒ疾
病ヲ扶ケ無知ヲ教ヘテ其人物ノ賤ムヘク憎ム
ハキモ持テ之ヲ論スル勿レ

第三 天ノ仁惠ニ由テ考フレハ人ノ仁惠ヲ施
スハ之ヲ受ケル者何様ノ感覺ヲ懐クモ之ニ關
係スヘカラスアルヲ知ルヘシ古昔人類ノ天ノ罪
人タリシ時ト雖モ天猶棄スレテ之ヲ救ヘリ哉

聖人モ亦人ノ暴害毒惡ヲ受ケタレモ志ヲ移サ
ス之ニ仁惠ヲ施シテ其生涯ヲ終レリ故ニ人已
ヲ呪詛スル者ノ福ヲ願ヒ已ヲ憎ム者ヲ惠マ已
ヲ凌雲スル者ノ為メニ祈禱セサルヘカラス
天ノ模範ノ外ニ人ノ仁惠ヲ行フヘキノ道理猶
數種アリ左ニ其一ニテ掲ク
第一 天人ノ仁惠ヲ行フヲ以テ其天ニ對シテ
犯セル罪ヲ免ユスノ箇條トセリ曰ク汝人ノ罪
ヲ恕ヒサレハ天亦汝ノ罪ヲ恕ヒサルヘシト
第二 人ノ已ヲ遇スル不善ナルカ為メニ顯ハ

ル、所ノ徳ハ人物ノ最モ高クヲ表シ人ノ天上
ニ昇ルコトヲ得ルニ最モ欠クヘカラサルモノナ
リ即チ溫柔堪忍寛恕等ニシテ此ノ如キ徳ハ天
ノ特ニ幸福ヲ賜フ所ノモノナリ
人カク以テ報スルコトヲ得ル所ノ徳ハ人ヲ愛シ
人ヲ畏ル、ノ念ヨリ起ルコトアリ實ニ天ヲ愛シ
天ニ從フノ證據ハ今ノ報スルコト能ハサル徳ヲ
行フニ在リ故ニ是等ノ徳ヲ以テ眞ノ信心ノ証
據トス聖人曰ク汝小人ニ對シテ慈悲ヲ行ヒタ
ルハ即チ我ニ對シテ行ヒタルナリト

仁惠ノ定則ハ普ク人類ニ及フモノニシテ親族
ト他人トノ別ナク國ト外國人トヲ論セス耶
蘇敵徒ト異族ノ徒トヲ問ハス只其人類タルヲ
以テ仁惠ヲ受クルニ足レリトス是天ノ定則ナ
リ持テ然ルノミナラス或ハ疎遠ノ人ニ對シテ
仁惠ヲ施スヲ以テ更ニ榮トスルノ理アリ其故
、疎遠ノ人ニ對シテ仁惠ヲ行フ所ハ報ヲ得ル
望最モ少ナクシテ己ノ私意ナキコト分明ナレ

英國ノホッランド氏ハ其國中ニ獄ヲ巡察セシメ

其敵國佛蘭西ノ獄ニ至ルマテ廣ク之ヲ巡察セ
 ンヲ以テ更ニ一層ノ美事トス且其本國ニ於テ
 仁惠ノ為メニ死スルハ榮トスルニ足レリ然ル
 一猶遠ト魯西亞國ノ僻邑ニ於テ死セシヲ以テ
 其榮更ニ幾倍セルヲ知ラス其地ハ元來無名ノ
 一小邑ナレバホワルド氏仁惠ノ為メニ死シテ
 永ク骨ヲ理メタルノ故ヲ以テ其名令ニ於テ猶
 世間ニ流布セリ言ハルドハ英國ノ人ニシテ
 牙國ノ大地震ニ遭ヒシ者ヲ救ハシメ其頃英例ノ間ニ
 牙國ニ赴カントヒレキ其頃英例ノ間ニ

アヲテホワルドノ船途中ニ於テ凶人ノ為ニ
 獲ラレ獄中ニ在テ親レク其辛苦ヲ嘗ク其
 テ本國ニ歸リレ後罪人ノ不幸ヲ憐ミ苦心焦思
 レテ國中ノ獄ヲ改革シテ他ノ諸國ニ及ホシ
 終ニ魯西亞ノ其ヨリ遠ク亞西亞諸國ノ獄ヲ
 巡察セシトセシカ魯西亞國ノ諸國ノ獄ヲ
 巡シ邑ニ至テ熱病ノ患ノ罪人ヲ訪ヒ其病ニ
 染テ死セシ時ニ至テ百九十年ナリ令ニ於テ
 ロンドニシテ造ラタレボルト云ノ礼拜堂ニ
 衆人ノ資ノ捐テ造ラタレボルト云ノ礼拜堂ニ
 入タル者仁惠ノ行フノ任アルヲ以テ推ス其ハ
 萬國ノ交際ニ於テモ亦同様ノ任アルソルノ理
 ナリ予ノ意見ニ依レハ萬國ノ仁惠ニ本テ互ヒ
 ニ相交ルノ任アル各箇ノ人ト異ガレナシ
 即チ天ノ與ヘタル力ヲ盡シテ互ヒニ仁惠ヲ施

スヲ以テ交法ノ本ト為スヘキヲ云フ
次ノ章ニ於テ不幸ノ人不善ノ人及ヒ己ヲ害ス
之人ニ對シテノ仁惠ヲ論スヘシ

第二章

第一條

窮迫ノ人ニ對シテノ仁惠

人及貧窮疾病老衰無知ノ為メニ窮迫奈何シト
モスヘカラサルコトアリ
單ニ貧窮ナルノミナレハ勞動スルノムアナル
間ハ大抵之ヲ救フヲ要セス其衣食ヲキハ宜シ

ク自ラ勞動シテ之ヲ得ハシ此ノ如キキニ於テ
人ノ行フハキ職務ハ之ニ産業ヲ授ク自ラ一身
ヲ養フコトヲ得セシムルニ在リ懶惰ノ人ヲ扶テ
遊食スルコトヲ得セシムルハ其人ニ對シテモ社
中ニ對シテモ次シテ仁惠ニ非ラス是天ノ仁惠
ノ趣意ナリ夫レ天ハ萬民ニ飲食ヲ與ヘテ一身
ヲ養フコトヲ得セシムルト雖ハ凡ク勞動ノ効ニ
因テ之ヲ得ヘカラシム亦聖徒ホトモ人若シ
勞動セズレバ當ニ食フコトナカルヘシト言ヘリ
第一 前條ノ如シト雖モ又ニ概ニ此例ヲ以テ

言ハレ
後編
三

推スヘカラサルコアリ大ニ因テ産業ノ方
ヲ失フコアリ破船ハ災洪水若シタハ製
造ノ感ナル地ニ於テ職業ナキ時ノ如キ是ナリ
事實自己ノ懶惰ヨリ起リタルニ非ラズテ天
災ノ為メニ窮迫ニ至ルガハ之ヲ救フヘシ親ノ
勞動ヲ以テ其子ヲ養フニ力足ラサルモ亦然リ
其夫ニ死別シタル寡婦ノ數多ク小兒ヲ養育ス
ルハ屢此事アリ又更ニ憐ムヘキハ小兒其兩親
ヲ以テシ片是ナリ此ノ如キ片若シ人ノ仁惠ヲ
施シテ之ヲ救スニ非ラスレハ死凶ヲ免ルハコ

能ハサルヘシ
第二 疾病 人疾病アルガハ平常ヨリモ衣食
ノ安樂ヲ要スレバ自ラ勞動スルノ力ナレ若シ
之ヲ扶ル者ナキ片ハ富人ト雖ムル^{カサリ}ハ^{ナシ}難ヲ免レ
ス況ヤ貧者ニ於テラハ此ノ如キ片ハ^{ナシ}金銀
ヲ與ヘテ之ヲ救フノミナラス自ラ看病シテ病
人ヲ慰ムヘシ
第三 老年 老年ハ必スシモ疾病ノ患アルコ
ト無クサレバ大抵老衰シテ寂寞無聊ニ苦シムコ
ト少ナカラズカテ盡シテ其憂ハテ慰メ其勞苦ヲ

扶クルハ仁惠ノ職務ニシテ仁愛ノ一種ト称ス
ヘシ

石ハ此條ニ於テ仁惠ヲ施スヘキ箇條ニシテ之
ヲ施スノ規則ハ即チ左ノ如シ

第一 貧人ノ疾病若クハ老年ノ為メニ少シモ
勞働スルヲ能ハサル者ハ全ク之ヲ扶助スヘシ

第二 貧人ノ疾病老年若クハ孤獨ノ為メニ一
身ヲ養フハ力足ラサル者ハ之ヲ助ケテ其不足
ヲ補フヘシ

第三 眼前職業ヲ得ルノ方ナキ者ハ一時其急

ヲ救フテ然ル後之ニ職業ヲ授クヘシ人ヲシテ
自ラ一身ヲ養フヲ得セシムルハ仁惠ノ最モ
大イナルモノナリ

第四 貧人ヲシテ獲ル所ノ些少ノ金錢ヲ蓄積
セシムルノ方ヲ設クルハ大イナル仁惠ナリ譬
ヘハ積金所ノ如キ者是ナリ是等ハ職業ヲ勉ム
ル者ヲシテ獨立自主ヲ得セシムルノ良方ニシ

テ之カ為メニ家産ヲ起ヒレ者甚々多シ
仁惠ヲ施ス者ニ於テ左ノ如キ注意スヘキ事
件アリ

第一、仁惠ノ職務ハ天ノ益ニ賦スル所ノモノニシテ人盡ク他人ニ金銀ヲ施ス可ク雖ハ別ニ手段ヲ用テ艱難ヲ扶ケ禍災ヲ憐ムノ方アラサルコトナク童子モ亦成人ノ如ク仁惠ヲ施ス可ク得可シ若シ童子玩具ヲ買フヘキ錢ノ半ヲ以テ病人ノ為メニ食物ヲ買ヒ或ハ貧窮ナル隣人ト其樂ヲ共ニスルハ徳ニ進ムノ最モ良方ナラン

第二、仁惠ヲ行フノ方ハ艱難ヲ受ル者ヲ親シク目撃シテ自ラ之ヲ救フコト宜シトス他人ニ物

ヲ與ヘテ之ヲ施サシムルモ全ク施ササルニハ勝レリト雖ヘモ自ラ施スニ及ハサルコト遠クシテ人ノ心ヲ修メ人ヲメテ天ノ恩ヲ感セシムルハ親シク他人ノ艱難ヲ目撃スルニ如クモノナレ第三、人ニ物ヲ施スハ祈禱ノ如ク教法ノ職務ナルヲ以テ務メテ之ヲ秘密ニスヘシ夫レ天ハ隱微ヲ照レテ人陰徳ヲ行ヘハ必ラス之ニ陽報ヲ與フヘシ

教育ノ事

凡ソ人トシテ讀書寫字算術ヲ能クセサルハ其

大不幸ナルヲ知ラサルヘシラス此ノ如キ人
 ハ知識ヲ博ムルノ手段トクシテ天ノ教誡ヲ知
 ルヲ能ハサルノミナラス朋友ノ贈リタル書翰
 スラ猶讀ムヲ能ハス若シ知識アルノ人之ヲ教
 導セハ天甚々之ヲ喜ニスヘシ
 我合衆國ノ都邑ニ於テハ大抵休日學校ノ設
 リ是レ無知ヲ教導スルノ良方ナリ少年ノ仁惠
 ヲ務メ天ニ從ハント欲スル者ハ力ヲ盡シテ之
 ヲ助クヘシ小児ヲシテ無知不善ニ陥ルヲ免レ
 シムルハ實ニ大イナル仁惠ト謂フヘシ

且是等ノ學校アルキハ人ニ學藝ヲ授クルノミ
 ニ非ラス亦其靈魂ヲ救フヘキ教法ヲ教フル
 ヲ得可レ少年ノ人其天ヨリ受ケタル恩惠ヲ他
 人ニ授ケテ天ニ謝スルノ意ヲ表スルハ天ノ最
 モ悦ブ所ナリ

第二條

惡人ニ對シテノ仁惠

前條ハ只不幸ノ人ニ對シテノ職務ヲ論セリ今
 此條ニ於テハ惡人ニ對シテノ職務ヲ論スヘシ
 疾病老年若クハ貧窮ノ為メニ不幸ノ者アレハ

之ヲ救フノ職務タルコトハ上ニ記セシカ如シ夫
 レ最モ憐ム可キ者ハ罪ヲ天ニ得ルニ在リ故ニ
 惡人ハ不幸ノ最モ甚タレキモノニシテ且ツ他
 人ヲ誘フテ之ヲ同惡ニ陷ラシムルコト譬ヘハ傳
 染病ヲ患フル者ノ害ヲ衆人ニ及ホスカ如シ加
 之今生ノ苦勞ハ死レテ休ムト雖モ罪ヲ天ニ得
 タル苦痛ハ死後愈甚タシクシテ永ク之ヲ救フ
 ノ方ナレ

之ニ由テ考フレハ惡人ハ就中憐ムヘキ者ナル
 コト知ルヘシ故ニ之ヲ導テ善ニ進マシムントス

ルハ特ニ人ノ職務ナリ

惡人ハ之ヲ避ケテ近ツクヘカラスト言フ者ア
 リ其言一理ナキニ非ラス人惡人ト交ルヘカラ
 ス其惡習ニ染ムヘカラス醉人ト共ニ飲ムヘカ
 ラス天ヲ汚ス者ト親レクヘカラス然リト雖
 ヘモ此故ヲ以テ醉人ヲ諫メテ酒ヲ禁セシメ天
 ヲ汚ス者ヲ教ヘテ擗ヲ畏レシメントスルヲ不
 可ナリト為スヘカラス朋友ト為テ交ルト仁惠
 ヲ施ストハ其間自ラ別アリ
 人ノ惡人ニ對シテ行フヘキ職務ハ左ノ如シ

第一 惡人ノ禍災艱難ヲ受クルキ之ヲ憐ムヘ
キ一善人ト同様ナリト思フヘシ惡人ヲ救フテ
善人ヲ救ヘル如ク心ニ樂ヲ覺フヘキ事ハ難シ
ト雖ヘ凡之ヲ以テ惡人ヲ救フハ善人ヲ救フト
同様ノ職務ニ非ラスト為スヘカラス
第二 カヲ盡シテ其不善ヲ改メ善ニ進マレム
ヘシ

其方左ノ如シ

其一 模範 自ラ善ヲ行フテ之ニ示スハ惡人
ヲ諫ハルノ最モ親切ニシテ最モ良方ナリ故ニ

之ト共ニ居ルギハ已メ善ニ與ミシテ不善ヲ憎
ムト示シ二縱令彼等ノ我ヲ嘲笑厭惡スルトア
ルモ猶彼等ヲ愛スルノ念ヲ以テ之ヲ忍フヘシ
其二 教諭 適宜ノ談話ヲ以テ其所行ノ惡レ
キトヲ寤ラレメ之ヲ勸勵シテ善ニ及ラシムヘ
レ此ノ如キトハ大抵私ニ之ヲ行フヲ以テ其功
多シトス
第三 人ヲ善ニ及ラシムルハ教法ニ如ク者ナ
レ故ニ談話ヲ以テ之ヲ世人ニ知ラシムルノミ
ナラス亦カヲ盡シテ教法ノ書ヲ世上ニ廣ムヘ

第四 四海ノ内皆兄弟ニシテ人々備身ノ方ニ
於テ人ノ教ヲ要セサル者ナレ故ニ廣ク惡人ヲ
教化スルハ人ノ欠クヘカラサル職務ナルヲ分
明ナリ夫レ天下ノ人永世ノ幸福ヲ得可キノ方
ヲ知ラサル者多レ是ヲ以テ何レノ地ニテモ教
法ノ書ナキ處アラバ必ラス之ヲ贈ルベシ
第五 人心暗愚ニシテ非ヲ改ムレト甚タ難シ
若シ天ノ助ナキ所ハ之ヲ教化ヒントスルモ功
ヲ奏スルノ望ナカルヘシ夫レ天ハ祈禱スレハ

其助ヲ假スモノナリ故ニ世ニ仁惠ヲ施サント
スル者ハ天ニ祈禱シテ其助ヲ乞フト亦欠クヘ
カラサルノ職務ナリ

第三條

己ヲ害スル者ニ對シテノ仁惠

茲ニ人アリ啻ニ惡事ヲ行フノミナラス亦我ニ
害ヲ加ヘタル所ハ之ニ對シテ行フヘキ職務如
何
第一 所作ノ不善ナルバ我ニ對シテ行ヒレバ
モ他人ニ對シテ行ヒレバノ如ク之ヲ憎ムハシ

人ハ何様ノ景況ニ於テモ善ヲ愛シ不善ヲ憎マサルヘカラス

第二 前條ノ如レト雖モ其人ニ於テハ惡人

タルヲ以テ其不幸トナシ憐テ之ヲ教化スヘレ

第三 我ニ加ヘタル害ヲ寛恕スルハ我職務ニ

シテ殊ニ聖人ノ命セレ所ナリ曰ク汝人ノ罪ヲ

怒セリルハ天亦汝ノ罪ヲ怒セサル可レト故ニ

人永世ノ幸福ヲ得ルノ望ハ只此命ニ役スニ在

リ

第四 我害ヲ被ハリタルハ善良ノ模範ヲ示シ

テ害ヲ為ヒ者ニ仁惠ヲ施スヘキ好機會ナリヨキ

故ニ善ヲ行フテ其惡ニ克ツテ我職務トシ聖人

曰ク汝ヲ咒詛スル者ノ福ヲ願ヒ汝ヲ憎ム者ヲ

惠ミ汝ヲ凌虐スル者ノ為メニ祈禱スヘシト

此ノ如キ方ヲ以テ難ヲ定ムルハ報復ヲ行フニ

勝ルニ數倍ニシテ此方ヲ用ルトハ雙方共ニ善

ニ進ミ報復ヲ行ハハ雙方共ニ其品性ヲ損ヒ一

ハ際限ナキノ亂ヲ醸シ一ハ只善ヲ行フノ故ノ

ニニシテ直ニ世間ニ人ヲ害スルノ所行ナカラ

シムヘシ

然レモ當我ニ對シテ罪ヲ犯スノミヲラス亦社
中ニ對シテ罪ヲ犯ス者ハ相當ノ為方ヲ以テ之
ヲ罰シテ可ナリ若シ人我家ニ入テ物ノ奪フ所
ハ之ヲ執ヘテ入牢セシム可シ否ヲ判レハ賊ヲ
行フノ生涯止マスレテ其人ト世人トノ最モ大
イナル不幸ナルハシ人ノ我ニ害ヲ加ハスルヲ
寛恕シテ之ヲ教化スルハ善シト雖モ其志ヲ制
止スルヲ為方ヲ用フルモ亦其人ト世人トニ對
シテ止ムコトヲ得サル職務ナリ
社中ハ此ノ如キ惡人ヲレテ其惡ヲ改メシムル

ノ職務アルモノト思ヒ罪人ヲ遇スルニ慈愛ヲ
以テシテ衣食ノ不足ヲカラシメノ方便ヲ盡シテ
之ヲ善ニ導クヘシ此ノ如キキハ獄ヲ設テタル
ハ恰モ脩身ノ學校ヲ建タルカ如クニシテ惡人
及ヒ社中ノ最モ大ナル幸福ナラン
古昔少年ノ罪ヲ犯セシ者ヲレテ身ヲ匿サシム
ルノ處ヲ設ケ大ニニ社中ノ幸福トナリ數百人
ノ少年ヲ救ヒシコトヲ前令日ノ獄モ之ト同様ノ
方ヲ用フヘシ然ル所ハ亦同様ノ効アリラン

第三章

青心人記 卷之六

畜類ニ對シテノ職務ヲ論ス

畜類ノ感覺アリテ猶入ノゴトクニシテ其苦樂ヲ覺ユルノ度ニ於テハ異ナルヲ無カル可シ其最モ人ニ異ナル所ハ脩身ノ能力無クシテ是非ヲ別ツテ能ハサルニ在ルノミ
然レモ畜類ハ人ト同等ノ者ニ非ラス故ニ人ニ對シテ相互ノ權アリト稱スルヲ能ハスシテ人其樂ヲ減シ或ハ必要ニ因リ又便利ノ為メニ其生命ヲ取テ己ノ樂ヲ達スルノ自由アリ天畜類ヲ以テ入ノ食物ト為シ人ニ之ヲ生殺スルノ權

柄ヲ與ヘリ然レモ天ノ許シタル目的若クハ方法ノ外ニ此權柄ヲ用フルノ權ナシ

第一 必要ノキハ殺シテ食物トスルモ妨ナシ人牛ヲ食ハレト欲スレハ之ヲ殺シテ可ナリ然レモ戯レニ之ヲ殺スルノ權ナレ又肉ヲ取テ食ト為シ或ハ皮ヲ獲ノ衣ト為サント欲スルモ野ニ獵シテ鹿若クハ野牛ヲ射ルモ妨ナレト雖モ射藝ニ熟セルカ為メニ之ヲ射ルノ權ナレ故ニ鳥ヲ食ハレカ為メニ之ヲ射ルハ是ナリト雖モ戯レニ之ヲ射ルハカラス人豈ニ一時ノ勸業

ノ為メニ畜類ヲシテ生活ノ幸福ヲ失ハレムハ
ケシヤ

第二 又之ノ勞動ニ用フルモ妨ナレ譬ハハ馬
ヲシテ物ヲ牽カシメ或ハ之ニ乘セカ如キ即是
レナリ

第三 此ノ如ク勞動ニ用フルモ之ヲ憐テ無用
ノ勞苦ヲ受ケレムヘカラス若シ人命ヲ救ヒ緊
要ノ事件ヲ行ハシカ為メ止ムコトヲ得ザレハ非
常ニ之ヲ驅使スルノ自由アレハ己ノ歡樂或ハ
賭博ノ為メニ之ヲ行フノ權ナレ

第四 是ヲ以テ競馬闘鷄等ノ如キ畜類ヲ苦マ
シメテ歡樂ニ充ルハ純粹ノ惡事ニシテ天ノ人
ニ與ヘタル畜類ヲ生殺スルノ權柄ハ此ノ如キ
目的ノ為メニ非ラズ畜類ノ互ヒニ相害スルヲ
觀シカ為メニ知識ノル人類ノ集リタルカ如キ
見ルニ忍ヒサルモノ無ク人心ヲレテ殘忍ナラ
シムルコト畜類ノ兇暴ヲ觀ルヨリ甚タシキモノ
ナシ

修身論 大尾

東京

和泉屋市兵衛

市川清流 校

竹書

後編

二